



若年ママ運転免許取得希望者 アンケート結果



- 1. 実施期間: 令和6年7月10日～9月30日
- 2. 実施方法: 電話での聞き取り調査
- 3. 対象者: 運転免許取得を希望する女性 67人

一般社団法人
おきなわ子ども未来ネットワーク



休眠預金を活用しての事業



若年ママ
運転免許
取得を応援*します！

*当法人にて普通自動車
運転免許取得費用を負担します。

募集要件 普通自動車運転免許を取得し、
就職につなげたい方

募集期間 7/10 水 ▶ 9/30 月

お申込み
連絡先 080-6495-2981
080-6495-2685

受付時間：平日9～17時
10分程度の聞き取りにご協力ください。

 舞い上がる
社会を築ける
みんなの力
休眠預金活用事業

この事業は「休眠預金活用事業」と
「くろろさん」働く人と子どもの明日を
応援プロジェクト」の支援を受けて実施
しています。

 働くあなたの笑顔にあいたい
沖縄ろろさん

【お問い合わせ先】
一般社団法人
おきなわ子ども未来ネットワーク  098-989-7301
 okinawamirai@snow.ocn.ne.jp 

*今回の事業の目的
6名の女性へ免許を取得させ、取
得後就労まで繋げる。

*6名のうち、3名を自宅から通っ
て免許をとる女性、他3名はみらい
シンシアへ入所して免許をとる。
(シンシアは、親子で入所し、個別
の部屋、食事、保育を支援する)

マスコミを活用しての幅広い呼びかけ

第3種郵便物認可

沖縄タイムス

2024年(令和) 7/12



シングルマザーの運転免許取得支援を強化するおきなわ子ども未来ネットワークの山内優子代表理事（右から2人目）らスタッフ＝10日、読谷村内

母の免許取得へ態勢強化

ひとり親家庭を支えたい

何をするにも車が必要な沖縄で、一般社団法人おきなわ子ども未来ネットワーク（山内優子代表理事）は本年度、シングルマザーの運転免許取得の支援を強化する。これまでは費用だけ全額を支給してきたが、仕事や育児に追われて教習所に通えない人もいた。本年度は住む場所と食事を提供し、免許を取った後の就職まで完全サポートする。休職預金を開示して、自宅から通う人を含め計6人を支援する予定。（社会部・嘉数よし）

子ども未来ネット 就労まで伴走

「免許取得は自立の第一歩になる」と、山内さんは語る。10代で出産を経験した女性らを支えてきた経験から、育児や就労・進学の幅を広げるには「免許が欠かせない」と考えた。2022年度は県の助成金を活用し、23年度は自主財源で計8人に免許取得費用を支給してきた。

当初は、オートマチック車で約30万円かかる費用が壁だとみていたが、支給を始める「母親たちにはさまざまな事情があって、教習所に通うのも困難が伴った」（山内さん）。

シングルマザーは家事や育児に加え、働いて生計を

住む場所や食事も提供

立てる必要にも迫られる。教習所で学ぶ間の子どもは預け先確保も悩みの一つ。複雑な家庭環境も影響し、これまで費用を支給した8人中3人は免許取得に至らなかったという。

このため、7月からは費用追加に加え、教習所に通える環境づくりを始める。アパートを借り上げて二体型母子自立支援施設を設置し、3世帯に提供。食事もスタッフが出す。

施設で受け入れるのは9月から来年2月まで。自宅から免許取得、就労を目指す母親も他に3人フォローする。

今回は日本都市計画家協会（JSURP）や南国地域産業活性化センター（N I A C）、県労働者福祉基金協会による休職預金活用事業と、県労働金庫の支援を受けて実施。山内さんは「モデル事業としてしっかりと取り組み、行政に必要性を訴えていきたい。必要な人は問い合わせてほしい」と呼びかけた。

9月まで応募を受け付ける。電話は080(6495298)、または080(64952900)。平日午前9時～午後5時まで。

沖縄タイムス
7月12日掲載



「スマホ可能性を
精兵代表

マスコミを活用しての幅広い呼びかけ

生活 2024年(令和6年)7月25日 木曜日 生活(22)

生活 □火・水・木・土曜 掲載 TEL:098(865)5158 seikatu@ryukyushimpo.co.jp

運転免許取得へ包括支援



事業への応募を呼びかけるおきなわ子ども未来ネットワークの(右から)山上友美さん、山内優子代表理事、奥間悦子さん、小橋川結子さん=11日、読谷村

おきなわ子ども未来ネットワーク シングルマザー募集

同事業は2023年にその生活がままならなかったターゲット。これまでに真の助成金や自主財源を用いて、子ども預け先がなかったり、費用を助成し、5人、念せざるをえなくなった人が免許を取得した。事業開始当初は、費用がなかった。車社会の沖縄では、援助すれば問題なく免許が取り、子どもの通園や通学が取れると予想していた。院、日々の買い物なども負担が重くなる。シングルマザーを取り巻く厳しい現状

自立への第一歩 費用全額、住居、就職も

募集は9月30日まで。問い合わせ・申し込みは同法人、電話098(865)5158(20時)または098(865)4951(20時)まで。平日午前9時から午後5時。(編みすみ)

や、必要な支援が浮き彫りになった。こうした実情を踏まえ、免許取得と就職を目標とする「二体型母子自立支援施設」の運営を決めた。入居は9月から来年2月の予定。免許取得費用の助成に加え、高卒認定の資格取得などの教育支援や就職支援をする。またアパートを借り上げて3世帯に住居を提供し、食事を出す。保育士を配置して教習所に通う間も安心して子どもを預けられるようにする。

本年度は南西地域産業活性化センター(NIAA)、日本都市計画協会(JURUP)、県労働者福祉基金協会による「県労働者福祉基金による生活困窮・就労困難な状況から抜け出す自立支援プロジェクト」と、県労働金庫の「働く人の子どもの明日を応援プロジェクト」の支援を受けて実施する。

同法人の小橋川結子さんは「生活が安定して本来の力を発揮できる環境をつくるために、この形での支援が必要としている人達気軽に問い合わせしてほしい」と話した。

同事業は2023年にその生活がままならなかったターゲット。これまでに真の助成金や自主財源を用いて、子ども預け先がなかったり、費用を助成し、5人、念せざるをえなくなった人が免許を取得した。事業開始当初は、費用がなかった。車社会の沖縄では、援助すれば問題なく免許が取り、子どもの通園や通学が取れると予想していた。院、日々の買い物なども負担が重くなる。シングルマザーを取り巻く厳しい現状

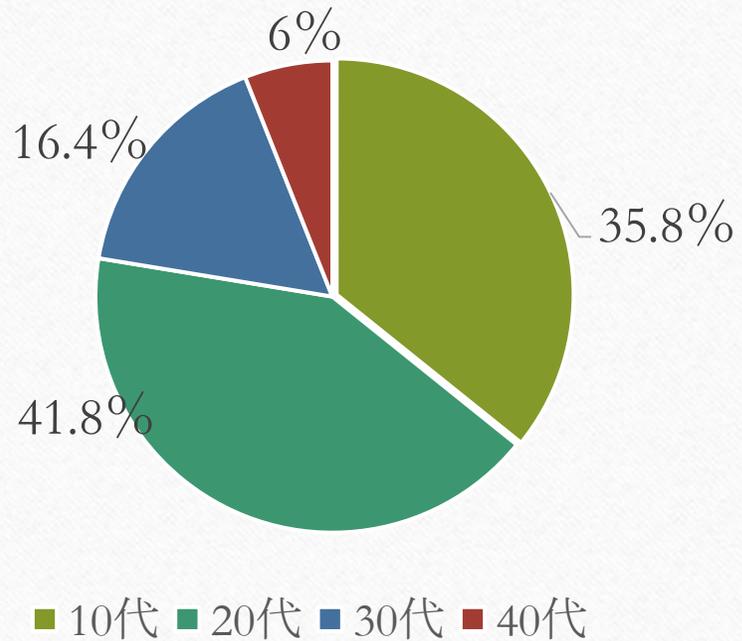
若年妊産婦の支援を守る「一般社団法人「おきなわ子ども未来ネットワーク」(山内優子代表理事)は、運転免許取得を希望しているシングルマザーに、オートマチック車の免許取得費用30万円を全額支援する事業の対象者を募集している。若名。本年度からは教習所に通う間の住居・食事の提供や、免許取得後の就職に向けて包括的に支援する取り組みも始める。山内代表理事は「免許は自立への第一歩。就職へとつながり自立する」と、貧困の連鎖も防げると事業の意義を語る。

二〇二四年(令和六年)七月二十五日(木) 琉球新報

琉球新報
7月25日掲載



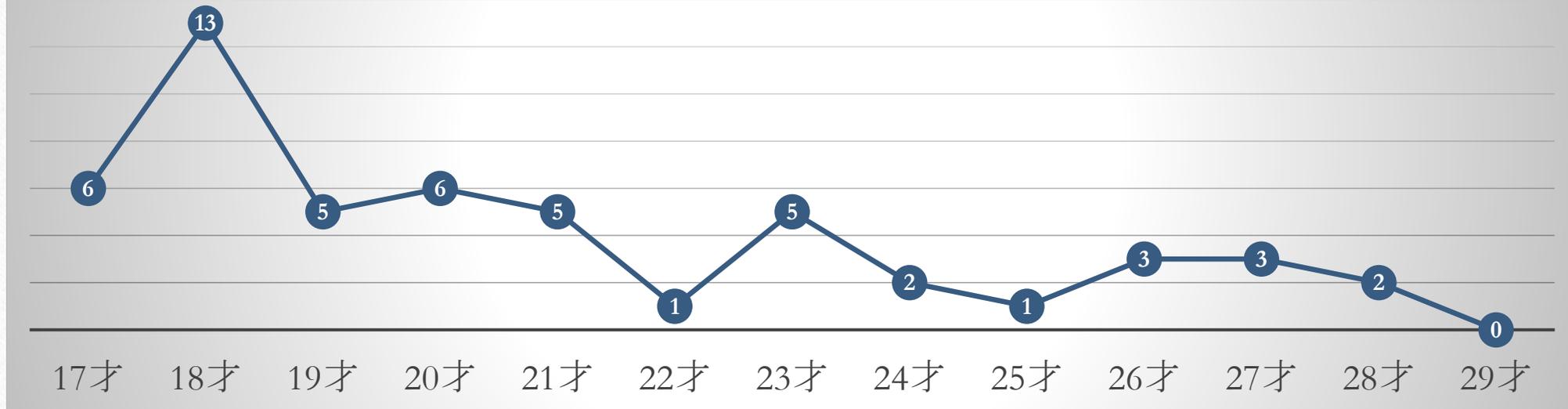
年代別応募件数(合計67人)



10代.....24人
20代.....28人
30代.....11人
40代.....4人

年齢別応募件数

10代 ~ 20代



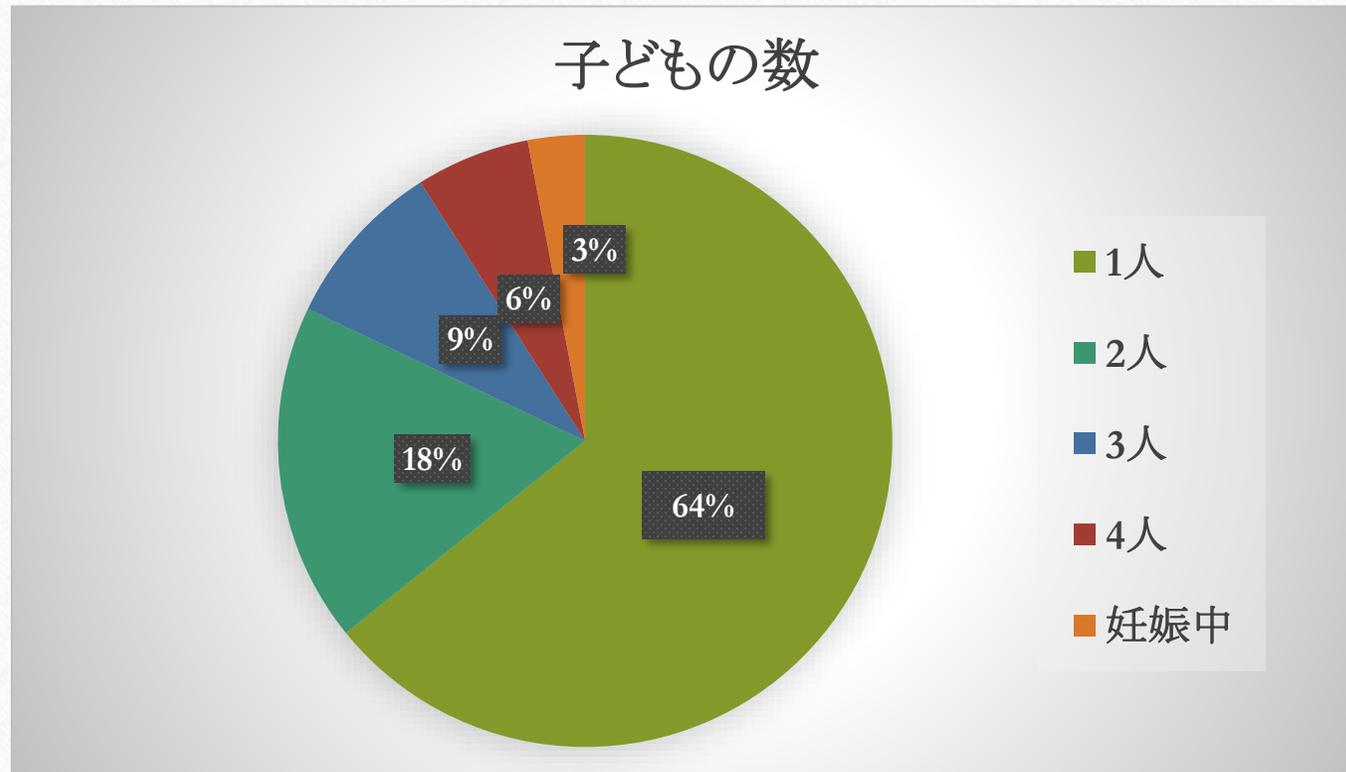
市町村別応募件数

那覇市	沖縄市	浦添市	宜野湾市	うるま市	南城市
18人	15人	6人	5人	5人	4人

2人……西原町 名護市 八重瀬町

1人……糸満市、北谷町、豊見城市、読谷村、宜野座村、南風原町、宮古島市

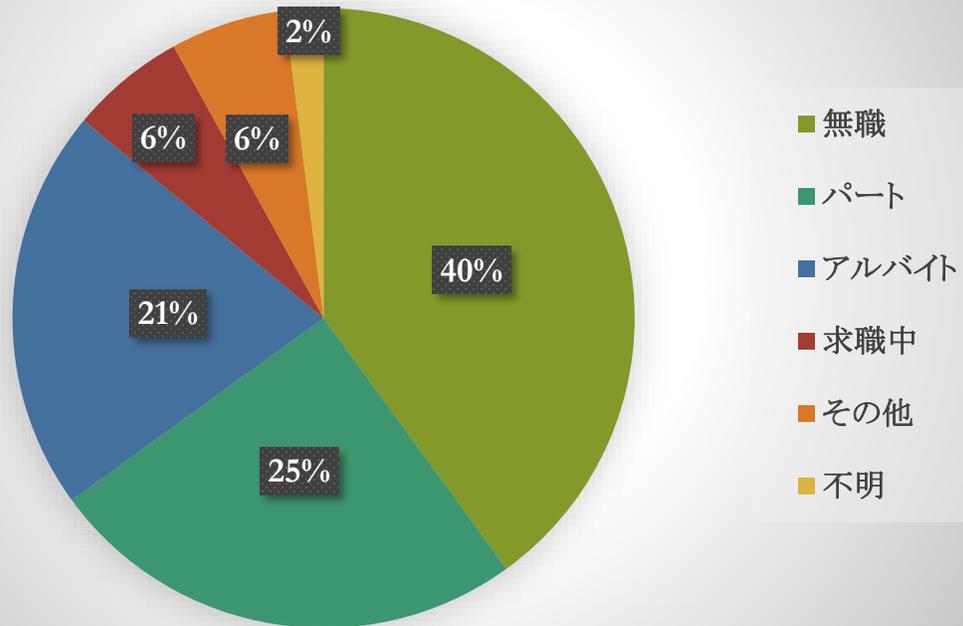
応募者の子どもの数



1人	43人
2人	12人
3人	6人
4人	4人
妊娠中	2人

応募者の就労状況

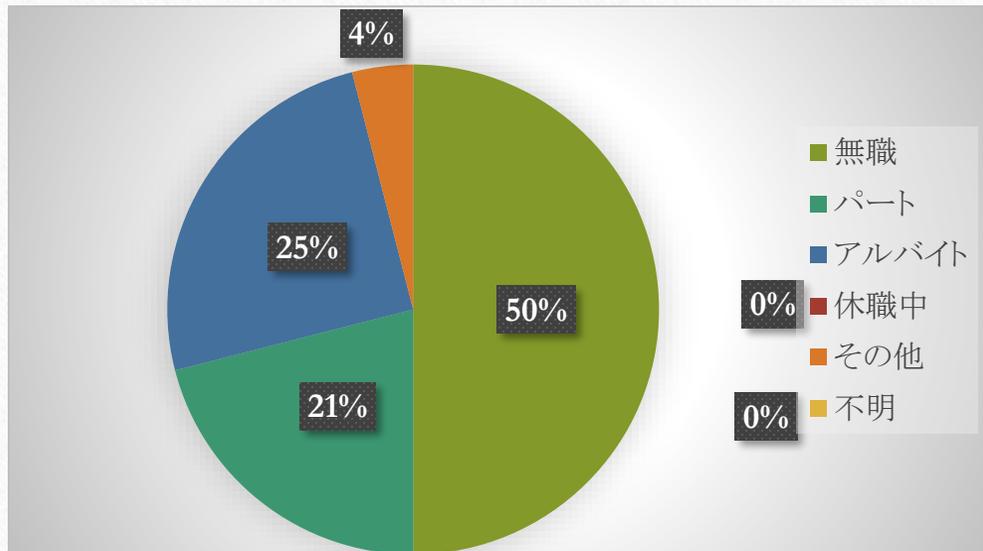
就労状況



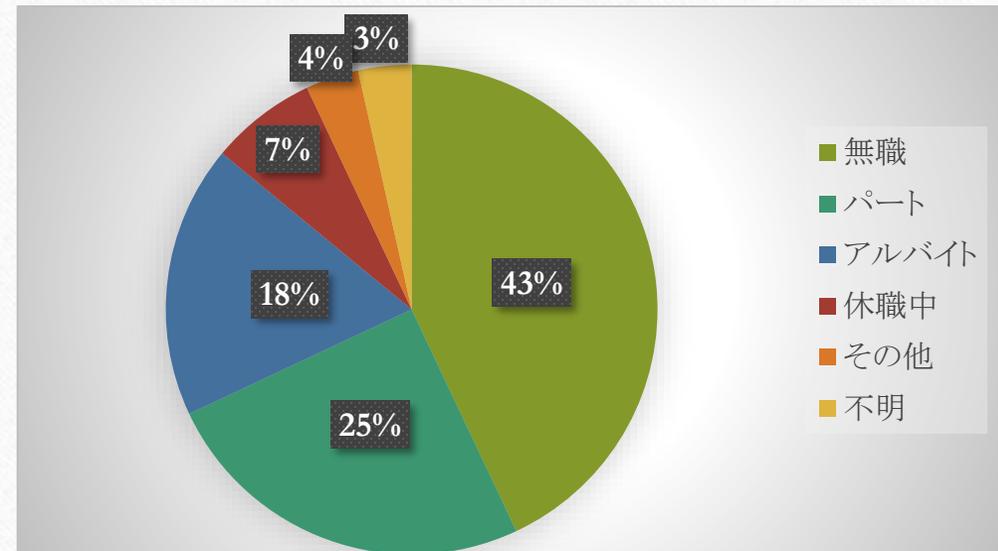
無職……………27人
パート……………17人
アルバイト……14人
その他……………4人
休職中……………4人
不明……………1人

年代別就労状況(10代～20代)

10代の就労状況

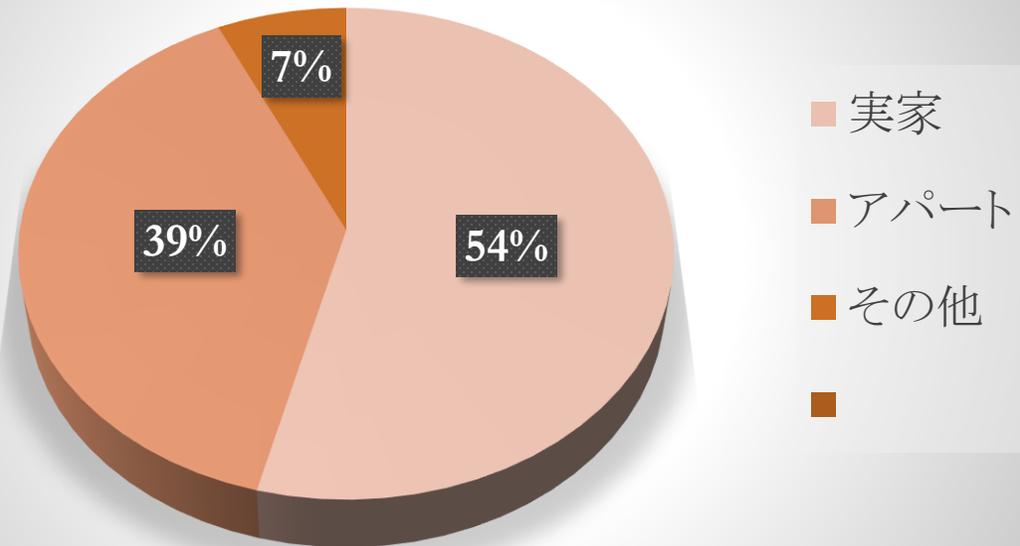


20代の就労状況



応募者の住まいの状況

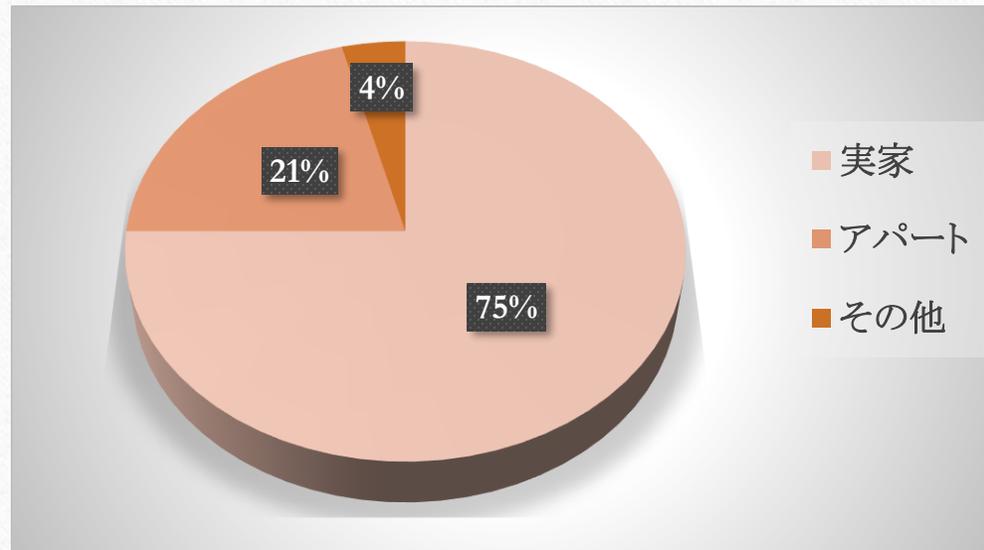
住まいの状況



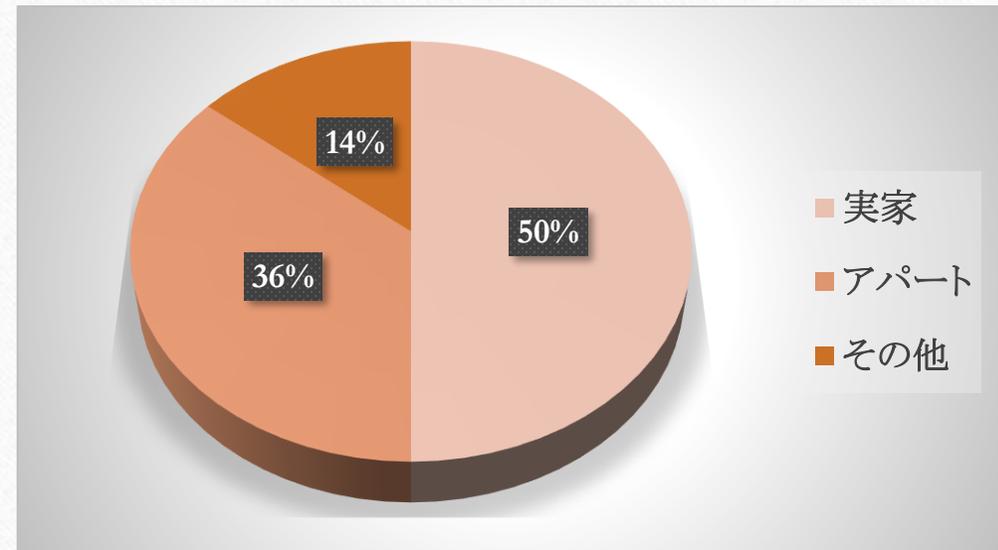
- 実家(36人)
母親、弟、妹、本人親子等
8人で生活
- アパート(26人)
生活保護受給中(親子)
- その他(5人)
友人宅、姉と同居、施設等

年代別住まいの状況(10代～20代)

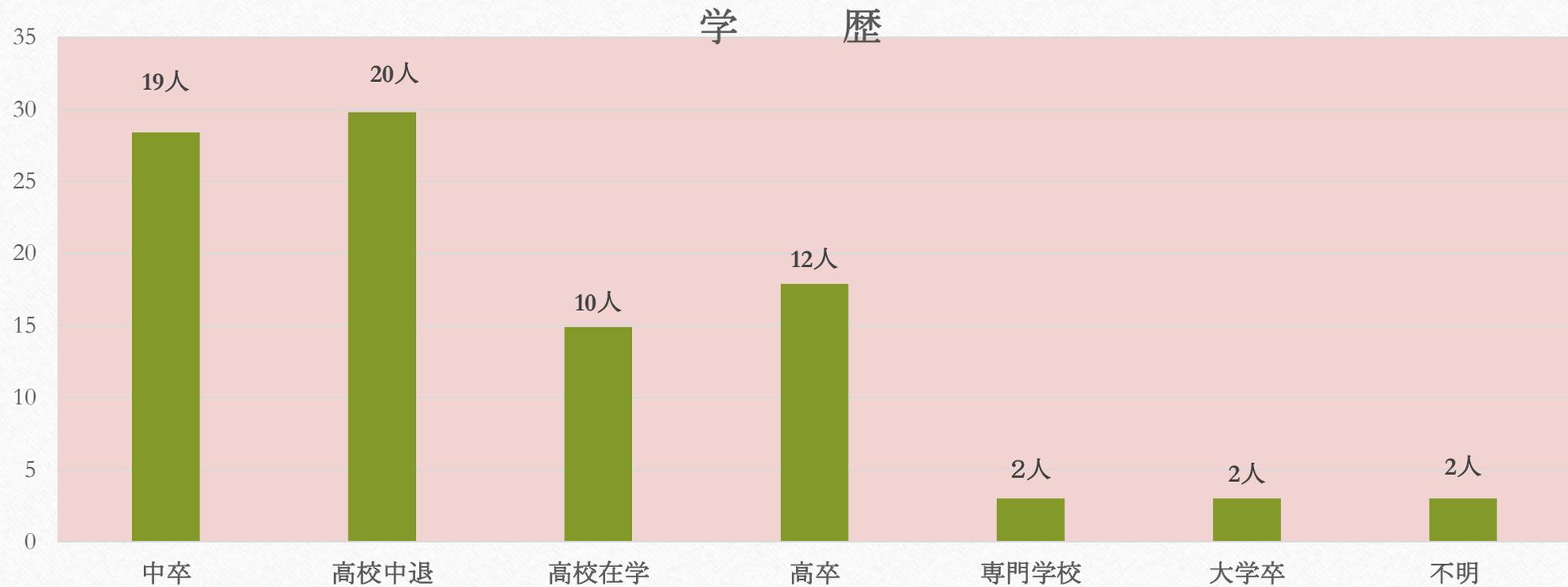
10代の住まいの状況



20代の住まいの状況

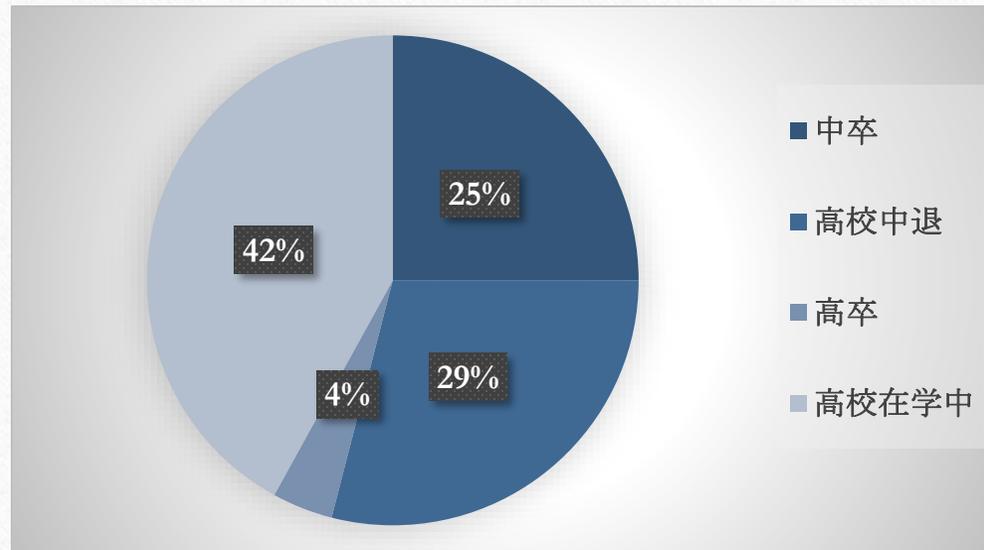


応募者の学歴

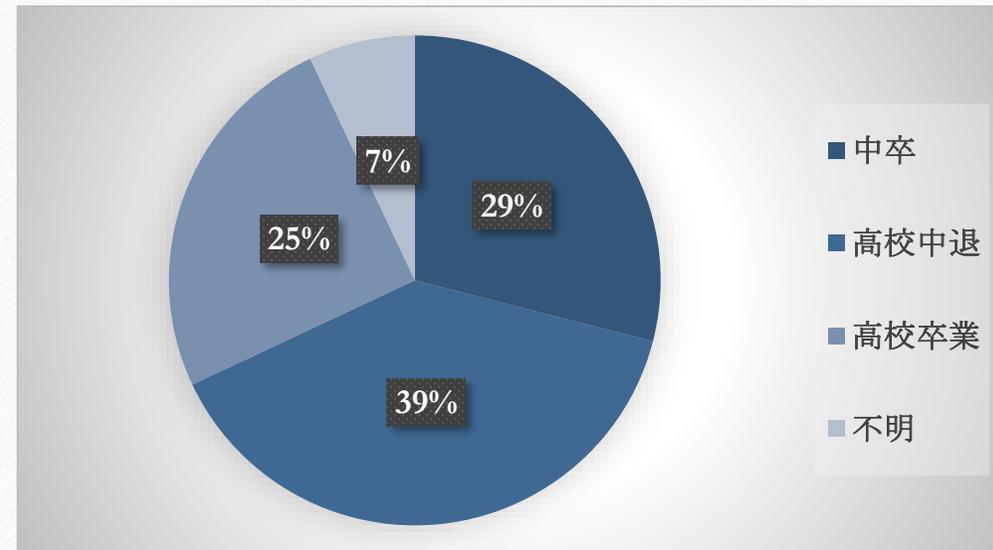


年代別学歴の状況(10代～20代)

10代の学歴



20代の学歴



当事者の声・(1)運転免許について

- バスが時間通りに来ないため、仕事や保育園に遅刻したりする。
- 保育園へ徒歩で50分かけて通っている。雨降りはびしょぬれになる。
- 小学生の子を徒歩で登校させたら熱中症になった。
- 子どもを夜間救急診療させると、タクシー代が高額で困った。
- 何をするにも車がないとできない。(保育所の送迎も仕事も……)
- 自分が通える距離にやりたい職がない。仕事の幅が限られて来る。
- ずっと免許取りたいと思ってきたが、子育てに時間とお金が取られてとれなかった。
- 免許がないので、仕事断られた。昼間の仕事がしたいけど、免許がないと身動きとれない。免許がないと就職ができない。

当事者の声・(2)住まいについて

- 実家に8名で、3DKに住んでいるが、狭くて居場所がなく、落ち着けない。
- 実家で7名で住んでいるが、早く自立したい。実家を出たい。
- 実家に世話になっているが、居づらい。子どもを連れて出たい。
- 親が自分の児童扶養手当を管理している。自由に使えるお金がない。
- 家族から、早く自立して欲しいといわれている。
- 家族のいろいろな問題に巻き込まれる。自分のことが集中してできない。
- アパート借りて出たい。しかし、金銭面が苦しい。

当事者の声・(3)就労について

- 免許を取得すれば、仕事の幅が広がるから、自分の希望する仕事につける。フルタイムでも働ける。
- パートでなく、正社員になりたい。安定した収入を得て、もう少し食事を増やしたい。安定した収入を得るため、フルタイムで働きたい。
- 残業ができない。(通勤の関係で) ・日曜日休みの所で働きたい。安定した収入が欲しい。
- 職場の同僚に子どもの病気で休むと嫌みを言われ、気まずい思いをしている。シングル把事情を分かってくれない。
- 資格がないのがネックになっている。免許がないと厳しい。

当事者の声・(4)学歴について

- 高校中退や小さい子がいると、面接で落とされてしまう。
- 高校卒の資格がないので、利用者の対応に自信を持って対応できない。
- 高校を中退し、高卒の資格を取りたいと通信制の高校へ通ったが、学費が続かなくて、辞めてしまった。
- 高校の通信制に在籍しているが、学費が準備できず休学している。
- 高校在学中に妊娠し、辞めてしまった。
- 高校中退したので、通信とかで高卒の資格を取りたい！

職なく、住まいなく、学歴なく、資格なし！

- 総ての女性が、仕事をしたいと思っている。フルタイムで働きたいと思っている。
- しかし、自宅から歩いて通える場所には、仕事がない。近くに保育所もない。
- 子どもを産むために、自宅に戻ってきた。実家は狭く、経済的にも余裕はない。
- 早く実家を出て自立したい。しかし学歴がないため賃金が安く、お金が貯まらない。
- 子育てをしながら免許費用を貯めたいと思っている。しかし、残業も出来ない。
- 一人で、二重、三重、四重の苦難を抱えている女性がいる！
- そして、そこには未来を担う子どもがいる！
- そういう親子をどこから、何から支援して行けば良いのか！

